

## NY マーケットレポート (2016年11月30日)

NY 市場では、序盤に発表された米 ADP 雇用統計で、雇用者数の伸びが市場予想を上回り、6 月以来の高い伸びとなったことや、シカゴ 購買部協会景気指数が 2015 年 1 月以来の高水準となったことが好感され、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。また、OPEC で減産が決定されたことを受けて、原油価格が大幅上昇となったことから、投資家のリスク志向の動きも加わり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。特に、ドル/円は 3 月 2 日以来、ユーロ/円は 6 月 24 日以来の高値を付ける動きとなった。なお、米ダウ平均株価は、序盤に取引時間中の最高値を更新した。

### 2016年11月30日 (水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	112.73	112.97	112.06
EUR/JPY	119.76	120.04	119.47
GBP/JPY	140.61	140.99	140.00
AUD/JPY	84.29	84.36	83.98
EUR/USD	1.0624	1.0661	1.0621

LONDON	高値	安値
USD/JPY	113.51	112.67
EUR/JPY	120.74	119.75
GBP/JPY	141.53	140.38
AUD/JPY	84.49	84.24
EUR/USD	1.0667	1.0619

\*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	114.38	114.56	113.18
EUR/JPY	121.20	121.31	120.27
GBP/JPY	143.13	143.21	141.16
AUD/JPY	84.49	84.50	84.05
NZD/JPY	81.02	81.06	80.58
EUR/USD	1.0597	1.0654	1.0553
AUD/USD	0.7388	0.7451	0.7374

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19123.58	+1.98
S&P500	2198.81	-5.85
NASDAQ	5323.68	-56.24
日経225 (CME)	18615	+260
トロント総合	15082.85	+83.04
ボルサ指数	45315.96	-56.23
ボベスパ指数	61906.36	+919.84

#### 12/1 経済指標スケジュール

08:50	【日本】3Q法人季報設備投資
08:50	【日本】11月対内外証券投資
09:30	【オーストラリア】3Q民間設備投資
10:00	【中国】11月製造業PMI・11月非製造業PMI
10:45	【中国】11月財新メディア製造業PMI
14:00	【日本】11月自動車販売台数
16:00	【トルコ】11月製造業PMI
16:00	【英国】11月ネーションワイド住宅価格
17:15	【スイス】10月実質小売売上高
17:30	【香港】10月小売売上高
17:50	～ 18:30
	【仏】【独】【欧】【英】【南ア】11月製造業PMI
19:00	【欧州】10月失業率
21:30	【米国】11月チャレンジャー人員削減数(前年比)
22:30	【米国】新規失業保険申請件数
22:30	【米国】失業保険継続受給者数
23:00	【メキシコ】11月IMEF製造業指数
23:00	【メキシコ】11月IMEF非製造業指数
23:30	【カナダ】11月RBCカナダ製造業PMI
23:45	【米国】11月マークイット米国製造業PMI
00:00	【米国】11月ISM製造業景況指数
00:00	【米国】10月建設支出

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1173.90	-16.90
NY 原油	49.44	+4.21
CMEコーン	348.50	-0.50
CBOT 大豆	1032.25	-10.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.117%	1.095%
3年債	1.401%	1.349%
5年債	1.847%	1.783%
7年債	2.195%	2.113%
10年債	2.386%	2.300%
30年債	3.039%	2.953%

ドイツ10年債	0.275%	0.221%
英国10年債	1.418%	1.370%

#### 12/1 主要会議・講演・その他予定

- ・ダラス連銀総裁 講演
- ・クリーブランド連銀総裁 挨拶

**NY 市場レポート**

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

米 MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) -9.4% (前回 5.5%)



出所 : Bloomberg

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月南ア貿易収支 -44億 ZAR (予想 -67億 ZAR・前回 69億 ZAR)

前回発表の 67億 ZAR から 69億 ZAR に修正



出所 : Bloomberg

22:10

◀ 要人発言 ▶

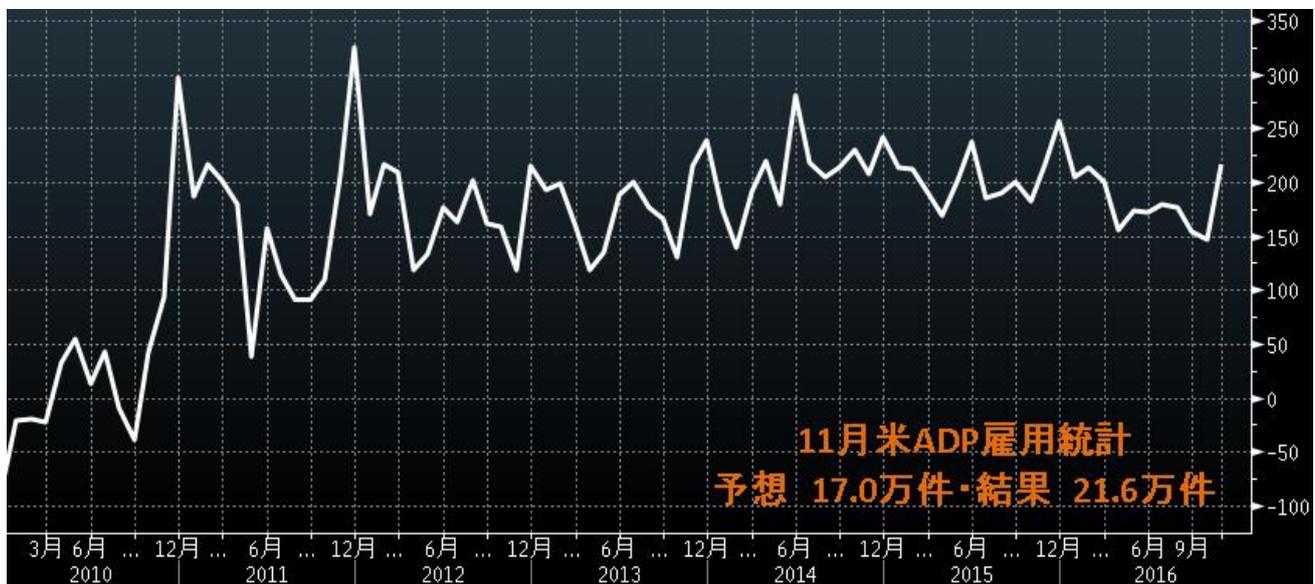
カプラン・ダラス連銀総裁

- ・「金融政策の正常化が重要」
- ・「過剰な緩和には代償が伴う」
- ・「インフレ率、中期的に2%に向かうトレンドに」
- ・「景気過熱を招かず雇用市場が拡大する余地も」
- ・「中国の減速と債務は為替の荒い動きにつながる公算大」
- ・「インフラ投資は弱い需要を押し上げる可能性もある」

22:15

◀ 経済指標の結果 ▶

11月米ADP雇用統計 21.6万件（予想 17.0万件・前回 11.9万件）  
 前回発表の14.7万件から11.9万件に修正



出所：Bloomberg

指標結果データ

◀ADP雇用統計▶

11月・・・10月・・・9月・・・8月・・・7月・・・6月・・・5月  
 ADP雇用者数（前月比）・・・21.6・・・11.9・・・19.6・・・16.2・・・21.4・・・26.2・・・3.1  
 （万人）

11月のADP全米雇用報告では、民間部門雇用者数が市場予想の+17.0万人を上回る+21.6万人となり、6月以来の高い伸びとなった。ただ、前月分は+14.7万人から+11.9万人に下方修正された。製造業や建設業を含む財生産部門の雇用は-1.1万人、建設業は+0.2万人、製造業は-1.0万人、サービス業は+22.8万人。従業員が500人以上の大企業の雇用者数は+9.0万人、50-499人の中堅企業では+8.9万人、49人以下の小企業では+3.7万人。

22:20

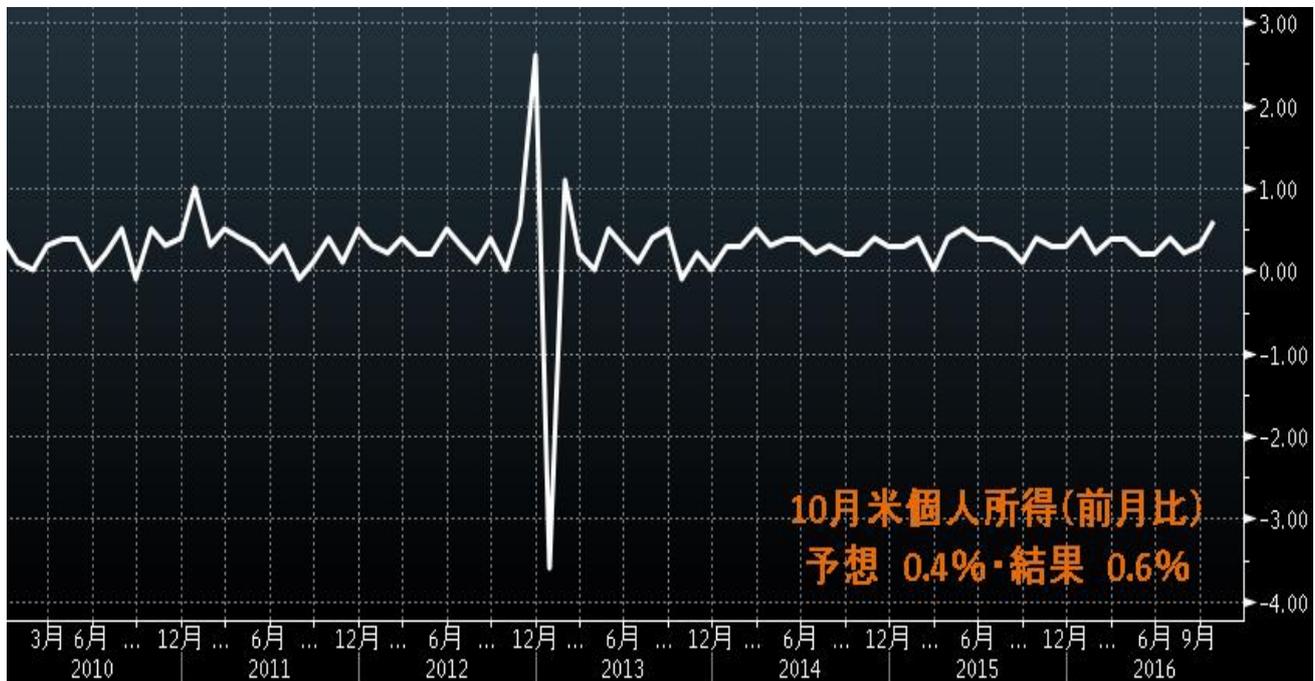
OPEC、日量120万バレルの減産で合意

22:30

◀ 経済指標の結果 ▶

10月米個人所得（前月比） 0.6%（予想 0.4%・前回 0.4%）  
 前回発表の0.3%から0.4%に修正

10月米個人支出（前月比） 0.3%（予想 0.5%・前回 0.7%）  
 前回発表の0.5%から0.7%に修正



出所：Bloomberg

**指標結果データ**

《米個人所得・支出》

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
個人所得	0.6	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4
賃金・給与	0.5	0.5	0.1	0.5	0.6	0.6
可処分所得	0.6	0.4	0.2	0.4	0.3	0.4
個人消費支出	0.3	0.7	0.0	0.3	0.5	0.3
個人貯蓄率	6.0	5.7	6.0	5.8	5.8	6.0

10月の米個人所得・消費統計では、個人支出が前月比+0.3%となり、市場予想の+0.5%を下回った。一方、雇用改善を背景に個人所得は市場予想の+0.4%を上回る+0.6%となり、8ヵ月連続で増加となった。

①FRBが物価の目安とする個人消費支出（PCE）物価指数は、前年同月比で+1.4%となり、前月から0.2ポイント上昇率が拡大した。ただ、FRBが目標とする2.0%を引き続き下回った。

②個人消費では、耐久財が前月比+1.0%と2ヵ月連続のプラス、食品やエネルギーといった非耐久財は+1.4%、サービスは-0.2%となった。

③税金の支払いを除いた可処分所得は+0.6%、貯蓄率は前月から0.3ポイント上昇の6.0%となった。

22:30

《 経済指標の結果 》

10月米 PCE デフレーター（前年比） 1.4%（予想 1.5%・前回 1.2%）

10月米 PCE コア・デフレーター（前月比） 0.1%（予想 0.1%・前回 0.1%）

10月米 PCE コア・デフレーター（前年比） 1.7%（予想 1.7%・前回 1.7%）

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

9月カナダ GDP (前月比) 0.3% (予想 0.1%・前回 0.2%)

9月カナダ GDP (前年比) 1.9% (予想 1.8%・前回 1.0%)  
 前回発表の1.3%から1.0%に修正

3Q カナダ GDP (前期比年率) 3.5% (予想 3.4%・前回 -1.3%)  
 前回発表の-1.6%から-1.3%に修正



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

23 : 10

◀ 要人発言 ▶

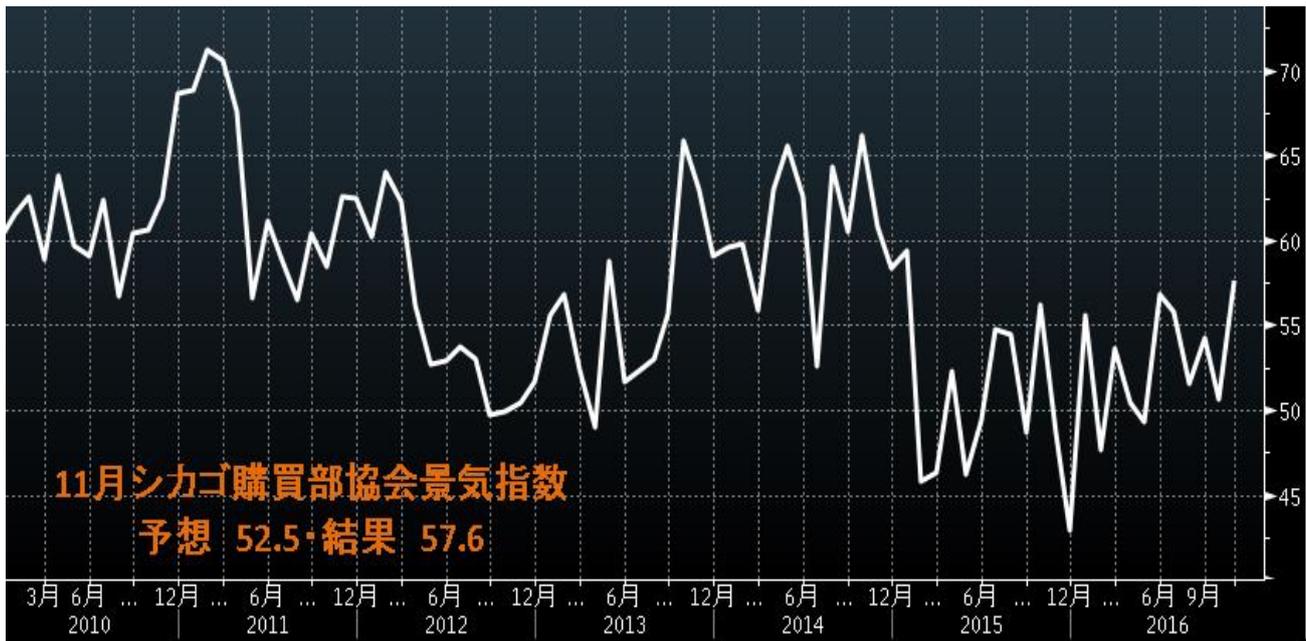
カプラン・ダラス連銀総裁

- ・「ドルを非常に注意深くみている」
- ・「ドル上昇は米輸出企業への向かい風になる」

23 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

11月シカゴ購買部協会景気指数 57.6 (予想 52.5・前回 50.6)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀シカゴ購買部協会景気指数▶

11月・10月・9月・8月・7月・6月・5月

景気指数・・・57.6・50.6・54.2・51.5・55.8・56.8・49.3

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月米中古住宅販売仮契約 (前月比) 0.1% (予想 0.1%・前回 1.4%)  
前回発表の1.5%から1.4%に修正

10月米中古住宅販売仮契約 (前年比) 0.2% (前回 2.0%)



出所：Bloomberg

経済指標データ

《中古住宅販売仮契約》

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
全米	0.1	1.4	-2.5	1.2	-0.8	-3.7
北東部	0.4	-1.6	1.3	0.8	3.2	-5.3
中西部	1.6	-0.2	-0.8	-3.1	0.9	-4.2
南部	-1.3	1.6	-3.2	0.7	-2.9	-3.1
西部	0.7	5.0	-5.5	7.1	-1.3	-3.4

(前月比%)

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
全米	0.2	2.0	3.9	-2.4	-0.7	2.4
北東部	1.8	7.5	11.6	-2.2	-1.0	2.7
中西部	-0.8	-0.9	3.3	-4.8	-0.6	1.8
南部	-0.5	0.5	1.3	-2.5	-0.8	2.7
西部	1.2	4.4	4.0	0.3	-0.1	2.1

(前年比%)

10月の米中古住宅販売仮契約指数は、前月比+0.1%の110.0(2001年=100)となり、2ヵ月連続のプラスとなった。前年同月比では+1.8%となった。地域別では、南部が前月比-1.3%、北東部は+0.4%、中西部は+1.6%、西部は+0.7%となった。NARのチーフエコノミストは「ほとんどの大都市圏で雇用環境が良好なことを背景に、住宅需要は依然強い」と指摘した。今月は中古住宅販売見通しが発表されなかった。

0:30

《EIA米週間在庫統計》

- 原油在庫・・・88.4万バレル減少
- ガソリン在庫・・・210万バレル増加
- 留出油在庫・・・496万バレル増加
- クッシングの原油在庫・・・241.9万バレル増加

1 : 15

**OPEC 記者会見**

- ・「イラクは、日量 20.9 万バレルの減産に同意」～クウェート石油相
- ・「イランは、9 月ペースで日量 9 万バレルの増産へ」～関係者
- ・「OPEC は、12 月 9 日(金)ドーハで非加盟国と協議する計画」～関係者
- ・「OPEC 非加盟国は、日量 60 万バレル減産に同意」～イラク石油相
- ・「サウジは、日量 48.6 万バレル減産へ」～カタール石油相

2 : 35

**《 要人発言 》**

**クリーブランド連銀総裁**

- ・「金利の再引き上げ、堅実な措置」
- ・「FOMC はまだ出遅れていないと思う」
- ・「金利の小幅引き上げは適切と考える」

**《 NY 債券市場 ・ 午前 》**

序盤のニューヨーク債券市場は、OPEC が原油減産で最終合意したとの報道を受けて原油先物が大幅上昇し、インフレ懸念が強まったことから、売りが膨らんだ。ADP 雇用者数が市場予想を上回ったことや、米個人消費支出、個人所得が堅調な結果となったことも売り材料となった。

午前の利回りは、30 年債が 3.05% (前日 2.95%)、10 年債が 2.38% (2.29%)、7 年債が 2.17% (2.11%)、5 年債が 1.83% (1.78%)、3 年債が 1.38% (1.34%)、2 年債が 1.11% (1.09%)。

4 : 00

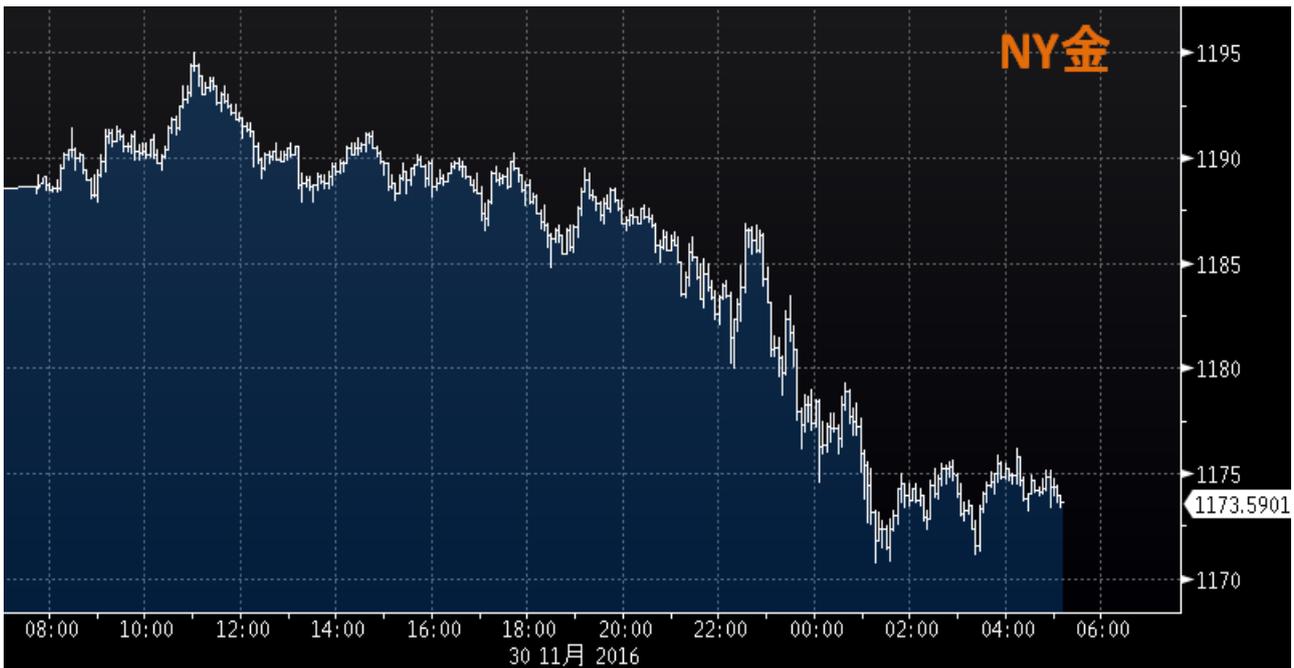
**米地区連銀経済報告**

- ・「米経済は大半の地区で引き続き拡大」
- ・「全般的な物価圧力がやや強まったと指摘」
- ・「見通しは総じて明るい、6 地区が緩やかな成長を予想」
  
- ・「7 地区が労働市場のタイト化を報告」
- ・「大半の地区が小売売上高の増加を報告」
- ・「3 地区が緩やかな成長、4 地区が緩慢な成長ペースを報告」

**《 NY 金市場 》**

**NY 金は、中心限月が前日比 16.90 ドル安の 1 オンス=1173.90 ドルで取引を終了した。**

NY 金は、ドルが主要通貨に対して上昇し、ドルの代替資産とされる金の売りが先行した。また、米雇用関連などの経済指標が堅調だったことも影響し、軟調な動きが続いた。

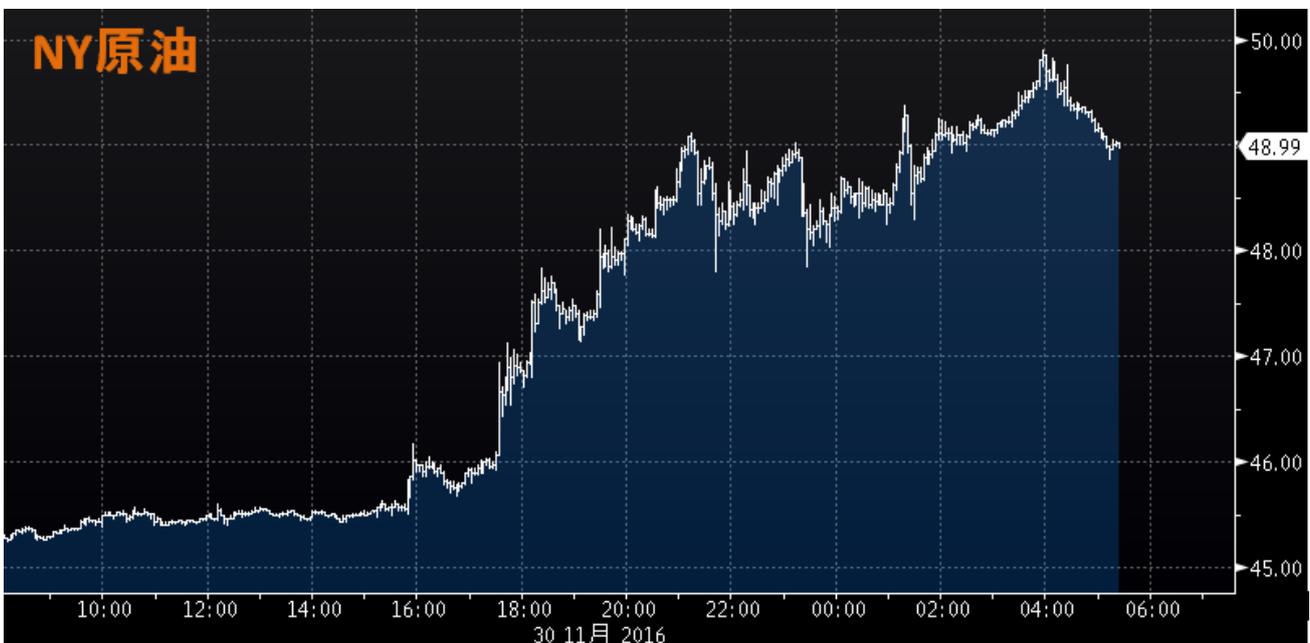


出所：Bloomberg

＜ NY 原油市場 ＞

NY 原油は、中心限月が前日比 4.21 ドル高の 1 バレル=49.44 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC が原油減産で最終合意したことを受けて需給改善への期待が広がり、買いが優勢となった。終値ベースでは、10 月下旬以来約 1 カ月ぶりの高値となり、上げ幅では 2012 年 8 月 3 日以来の大きさとなった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、OPECの減産合意に対する期待感を背景に、原油相場の上昇を受けて、投資家のリスク志向が強まり、主要株価は堅調な動きとなった。ただ、減産合意の決定後は一服感から上げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は序盤から堅調な動きとなり、最高値を更新する動きとなったものの、その後は上げ幅を縮小する動きとなった。なお、ナスダックはマイナス圏で引けた。



《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が堅調な結果が続いたことや、OPECの減産を背景に、原油価格が上昇しており、投資家のリスク志向から円売りが優勢となった。特に、ドル/円は3月2日以来の高値を付ける動きとなった。



---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。